

■ キャンサーネットジャパン沿革

南雲吉則（現代表）、吉田和彦（現理事長）他、数名の有志の医師が、1990年代既に米国にあったNCIが提供するがん患者向け情報冊子、PDQの翻訳を通じ、日本のがん患者への情報提供（冊子・書籍媒体、Web情報など）を開始した。

その後、日本における患者中心の医療の普及のため「セカンドオピニオン」・「インフォームドコンセント」の啓発、「科学的根拠に基づく医療」の普及のため各種書籍出版・シンポジウム・教育講座等を行ってきた。

■ キャンサーネットジャパンのMission Statement（ミッション・ステートメント）

キャンサー・ネット・ジャパンは、様々な活動を通じて、各種がんにおける標準的治療の確立と、関連・協力施設による標準的治療の提供・実施、及びその普及・啓蒙・教育を行い、多くの市民・がん患者が、最良のがん医療にたどり着き、患者中心の医療の普及に資する事を目的とします。

また、患者・国民の立場に立ち、日本のがん医療における問題点を明らかにし、広く問題提起する事により、がん医療の問題解決にも貢献します。

■ キャンサーネットジャパンのVision（ビジョン）

キャンサー・ネット・ジャパンは、CNJのPolicyに賛同し、援助する組織・個人、活動する組織・個人、全てに有形・無形な利益をもたらすNPO法人である事を目指します。

また、日本における医療・がん医療に関与するNPO法人の多くは、概して小規模で、経済的基盤も十分でないため、社会への貢献・影響は小さいものとなっています。

キャンサー・ネット・ジャパンは、これまでの活動の歴史・経験を生かし、時代の変化に対応し、医療（がん医療）に貢献するため、新しい日本における医療NPOのモデルを構築します。

現在のがん医療における問題は、それぞれのGroup内の知識・情報の共有の欠如、各Group間のコミュニケーションの欠如が大きな原因の一つです。

ここに隠されたニーズ(各グループが感じない)が存在し、今後この領域のSolutionに関与します。

Group A

医療を提供するグループ

- 医師
 - ・臨床腫瘍内科医
 - ・腫瘍担当外科医
 - ・放射線腫瘍医
 - ・病理医
 - 看護師
 - 薬剤師
- など、直接的に医療を提供するグループ

Group B

医療をサポートするグループ

- ソーシャルワーカー
 - 医療コーディネーター
 - 保険士
 - 技師
 - クリニカル・リサーチ・コーディネーター
 - データマネージャー
- など医療を側面からサポートするグループ

Group C

影響を与えるグループ

- がん患者や家族
 - 患者団体
 - マスメディア・報道
 - 厚生労働省など行政
 - 各種政党
 - 企業(製薬を含む)
 - 社会一般世論
- など医療を受け、医療に影響を与えるグループ

■ キャンサーネットジャパン沿革

南雲吉則（現代表）、吉田和彦（現理事長）他、数名の有志の医師が、1990年代既に米国にあったNCIが提供するがん患者向け情報冊子、PDQの翻訳を通じ、日本のがん患者への情報提供（冊子・書籍媒体、Web情報など）を開始した。

その後、日本における患者中心の医療の普及のため「セカンドオピニオン」・「インフォームドコンセント」の啓発、「科学的根拠に基づく医療」の普及のため各種書籍出版・シンポジウム・教育講座等を行ってきた。

■ キャンサーネットジャパンのMission Statement（ミッション・ステートメント）

キャンサー・ネット・ジャパンは、様々な活動を通じて、各種がんにおける標準的治療の確立と、関連・協力施設による標準的治療の提供・実施、及びその普及・啓蒙・教育を行い、多くの市民・がん患者が、最良のがん医療にたどり着き、患者中心の医療の普及に資する事を目的とします。

また、患者・国民の立場に立ち、日本のがん医療における問題点を明らかにし、広く問題提起する事により、がん医療の問題解決にも貢献します。

■ キャンサーネットジャパンのVision（ビジョン）

キャンサー・ネット・ジャパンは、CNJのPolicyに賛同し、援助する組織・個人、活動する組織・個人、全てに有形・無形な利益をもたらすNPO法人である事を目指します。

また、日本における医療・がん医療に関与するNPO法人の多くは、概して小規模で、経済的基盤も十分でないため、社会への貢献・影響は小さいものとなっています。

キャンサー・ネット・ジャパンは、これまでの活動の歴史・経験を生かし、時代の変化に対応し、医療（がん医療）に貢献するため、新しい日本における医療NPOのモデルを構築します。

Home - LIVESTRONG - livestrong.org - Microsoft Internet Explorer provided by Bristol-Myers Squibb

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

アドレス http://www.livestrong.org/site/c.jvKZLbMRIsG/b.594849/k.O07C/Home.htm


LIVESTRONG SurvivorCare | Sign up for LIVESTRONG Updates

LIVESTRONG LANCE ARMSTRONG FOUNDATION

CANCER SUPPORT GET INVOLVED GRANTS & PROGRAMS ABOUT US DONATE SHOP

I AM PERRY. I LIVE STRONG.

The Lance Armstrong Foundation inspires and empowers people affected by cancer. We help people with cancer focus on living; we believe unity is strength, knowledge is power and attitude is everything. From the moment of diagnosis the LAF provides the practical information and tools people with cancer need to live life on their own terms.



CANCER SUPPORT

We're here from the moment of diagnosis. Explore cancer resources to help you or your loved one live with, through and beyond cancer.


Connect with Someone Who Can Help
LIVESTRONG SurvivorCare offers assistance through education, qualified referrals and counseling services.

- ▶ Call us now at **1-866-235-7205**
- ▶ Email us to request information
- ▶ Find Clinical Trials

Learn about Cancer
Learn what you will experience during, through and after treatment.

- ▶ Featured Topic: [What Hospice Care Means for Survivors](#)
- ▶ All Topics

Hear from Others
Every person who has been affected by cancer has learned something that can benefit someone else.



Lynn is a two-time cancer survivor and recently shared her story on Oprah.

GET INVOLVED

10 YEARS Celebrate the milestone Join the battle >>

YOUR LAST CHANCE to choose your challenge. WALK. RUN. RIDE.
LIVESTRONG CHALLENGE

What does LIVESTRONG mean to you?
Create and share your video >>

SHOP NOW

Internet

We Are Always Beside You.
(Itsumo Anata no Sobani)
We Are Always Beside You.
(Itsumo Anata no Sobani)

Government

国（厚生労働省）・医療行政者

Cancer Net Japan

- 構成員 -

患者・家族・ボランティア

医師・看護師・薬剤師

医療コーディネーター

一般企業・製薬企業

などあらゆるStakeholders

Medical Supplier
医療提供者

Medical Consumer
医療消費者

がん支援民間組織・NPO（いわゆるThird Party）に対する公的経済的サポート

米国のがん医療をサンプルに取れば、がん医療に対する関心を持つ事への普及・啓蒙、がん患者への情報提供は、国家・医療施設・医療者のみからではなく、各種民間団体・NPO法人・患者団体、民間企業も大きな役割を担っています。

乳がん領域におけるSusan Comen、膵臓がんにおけるPan Can、各種がんの患者団体の活動の他、2006年ASCO（全米臨床腫瘍学会）でAwardを受けたランス・アームストロング基金（Lance Armstrong Foundation）などがあります。

これら団体の活動は、民間とはいえ、本邦においては十分な国民の認識のない抗がん剤治療臨床試験の意義の普及・啓蒙や、情報提供、臨床試験への資金提供をも行うまでに至っています。

近年、本邦においても、大阪で開催された第1回がん患者大集会などを機に、各地にあるがん患者団体やNPO法人の活動も活発化し、またこれらが集約された「がん患者団体支援機構」、「がん患者ネット」など、比較的規模の大きい活動もみられるようになってきました。

しかしながら、米国の団体と最も異なる点は、本邦における活動団体のほとんどが小規模であり、経済的な基盤を持たないため、その継続的な活動と、活動自体が制限されている事にあります。現在これらの活動に参加する方々は、関与する時間と経済基盤がある方々、あるいは相当に自己犠牲を伴い関与している方々であるのが現状です。

このような背景より、官民一体となり、がん医療の重要性を普及・啓蒙するためにも、活動及び発信する情報の信頼性が担保された団体（事前に認定のレギュレーションを作成する必要があります）には、種々の優遇措置を取る事が望まれます。

すなわち、①がん対策予算からの認定団体への活動資金援助、②認定団体への低金利の活動資金融資制度、③税法上の優遇制度の適応、④各種企業から認定団体への寄付金に対する税制上の優遇制度、などが必要と思われます。

現在、多くの患者団体他が、がん患者により運営されている事は、継続的な活動を阻害する要因であり、米国同様、患者以外の参画が必要であると思われます。また、経済基盤がない事から、活動基盤である事務所の確保さえできない団体が多く、これらの公的サポートも望まれます。

今後、がん医療対策には、患者団体、NPO、各種団体の関与は必須であり、これに取り組みされる事を希望します。